## 将来都市像 (案)

# 「〇〇〇〇〇〇なまち・開成」

現行の第五次開成町総合計画

「明るい未来に向けて人と自然が輝くまち・開成」



#### <主なキーワード>

- ①安心:防災・防犯、コミュニティ、人に優しい、つながり、助け合い
- ②活気:働く場の確保、生活の質向上、担い手の確保、観光
- ③楽しい:生活の質向上、チャレンジ
- ④自然、景観:地域資源の活用
- ⑤誰もが、自助・共助



#### <主なキーワード>

- ①居心地
- ②自然
- ③環境
- 4)便利
- ⑤景観



#### <主なキーワード>

<主要キーワード=まちづくりの視点>

地域資源を生かした活気で便利なまち |

安全・安心、居心地、活気、便利、地域資源、自然、

環境、景観、交流、つながり、誰もが、自助・共助 ⇒ 「誰にとっても安全・安心で居心地のいい、

- ①交流、つながり
- ②人にやさしい
- ③活性化、便利
- ④地域資源を活かしたまちづくり
- ⑤自助・共助

#### 町民ワークショップ

#### <開成町の将来のありたい姿(案)>

グループ1 オールグレードアップ開成~誰もが安心して活気あるまち~

グループ2 わくわく楽しいまち かいせい

グループ3 安心して楽しく充実した生活をおくれるまち

グループ4 田舎モダンの具現化

グループ5 全世代が安心して暮らせる活気のあるまち かいせい

## 町民意識調査

#### <まちづくりで重視するキーワード>

#### (1) 18歳以上の町民

- ①居心地
- ②自然
- ③便利
- 4)環境
- (5)健康

#### (2) 小中学生

- ①自然
- ②環境
- ③居心地
- 4)便利
- ⑤景観

## 関係団体ヒアリング

#### <まちづくりに対する意見>

- 世代間交流の活性化
- スポーツ活動の活性化
- 町内交通や買い物の利便性
- 高齢者に優しいまちづくり
- 超高齢社会への対応
- 優れた地域資源(自然環境等)
- 強みとしてのコンパクトさ
- インフラ整備と景観保全の両立
- 地域資源を活かしたまちづくり
- ・ 新たな担い手の確保 (ビジネス的な 発想が出来る人、地域活動後継者)
- 自助・共助

#### <町民ワークショップ時の町民からの意見テキストマイニング>

- ①助け合える
- ②ふれあえる
- ③<br/>つながる
- 4)防災
- ⑤ハザードマップ

- グループ1 オールグレードアップ開成~誰もが安心して活気あるまち~
- グループ2 わくわく楽しいまち かいせい
- グループ3 安心して楽しく充実した生活をおくれるまち
- グループ4 田舎モダンの具現化
- グループ5 全世代が安心して暮らせる活気のあるまち かいせい

- 全体として、「安心」「活気」「楽しい」というキーワードが多い。
- 「安心」は、防災・防犯のほか、地域コミュニティや「子どもや老人に優しいまちづくり」という視点から語られている。
- 「活気」「楽しい」は、働く場所の確保や起業といった雇用・産業の側面、 娯楽や生きがいといった生活の質向上の側面、地域コミュニティの活性化や 新たな担い手の確保という側面、観光の活性化という側面から語られている。
- その他、自然環境や景観といった開成町ならではの地域資源(田舎モダン)の活用や、日常生活の利便性向上といった点に言及する意見が目立つ。

【安全・安心】住環境や道路が整備されており、人に ……優しく、防災・防犯対策が整っている状態

【環境・交通】まちが綺麗で、安全・安心な暮らしができる状態(G1)

【安全・安心】安全安心 な住みやすい状態(高齢 者に優しい)(G4)

【安全・安心】災害・事 故リスクを最小限に抑え られている状態(G2) 【安心】町民の安心が確保された状態(G5)

【安心】災害対策に係る 施設・制度が充実してい る状態 (G3) 【子ども・子育て】子ども及び子育て世代に対して、 まち全体で支援をしている状態

【子ども】子どもがいき いきと暮らせ、安心して 暮らせる状態(G 1)

【安全・安心】安全安心 な住みやすい状態(子育 て環境)(G4) 【こども】子どもが多く、 元気なまちの象徴になっ ている状態(G.5)

> 【豊かな農村】持続可能 な農業が営める状態(G 4)

【環境と生活の調和】自然や

【楽しく】調和のとれた

魅力的な施設や自然を感

じられる状態(G3)

景観の保全と生活環境の両立

【自然・景観】良好な自 然環境や景観が保全され た状態(G5)

【便利】買い物や移動の手段 等が確保されている状態

【住環境】不便が解消され住みやすい状態(G 2)

【便利】町民の生活利便性が確保された状態(G5)

【賑わい】町民の働く場所があり、誰もが生きがいを持って働ける状態(G1)

【観光】町内へ訪れたい と思う状態(G2) 【働く】働きたい企業が ある、起業しやすい状態 (G2)

【学び】ここでしか学べないことや新しいことにチャレンジできる状態(G2)

【充実】集まる場所、働く場所、交通インフラ等が充実した状態(G3)

【活気】若い世代の集まる状態 (G4)

【活気】町に活計があふれた状態(G5)

※G=グループ

# 【参考】町民ワークショップで寄せられた「開成町の10年後のありたい姿」(将来都市像)②

• 前ページにおいて集約した「めざすべき状態」について、町民ワークショップで寄せられた主な考え方は下記の通り。

めざすべき状態	考え方
【安全・安心】住環境や道路が整備されており、人に優しく、防災・防犯対策が整っている状態	<ul> <li>ハード、ソフト両面において、自然災害に対する備えを進める(ボランティア、避難訓練、施設改修等)。</li> <li>地震や噴火などの自然災害に対して、自助・共助・公助の準備を進めておく(自宅への備蓄、自治会活動、被災者受入体制整備等)。</li> <li>公園や歩道を整備し、安心して生活できる環境を整える。</li> <li>高齢者に優しいまちづくり(声掛け、コミュニケーション、かかりつけ病院、公民連携等)。</li> <li>防災、福祉、暮らしなど、様々な面での安心を確保する(自治会活動、共助、災害対策強化、福祉の充実等)。</li> </ul>
【活気】働く場所が確保され、起業などの チャレンジをしやすく、町内外から人が集ま り、多様な担い手がいる活気のある状態	<ul> <li>大人や学生が働く場を確保する(町内への企業進出促進等)。</li> <li>開成町の特徴を活かした、魅力あるイベントを開催する。</li> <li>観光客が集まるまちづくりを進める(名産品開発、SNS発信、地域資源の活用、地域内の互助等)。</li> <li>若者が働きやすい環境を整備する(空き家の活用、就農体験、起業支援等)。</li> <li>町内外の人が様々な体験をできる環境を整備する(体験型の学び、官民連携による学習機会の提供等)。</li> <li>生活の質を向上させる(生涯学習やスポーツの機会充実等)。</li> <li>若い世代がチャレンジする環境を整える(若者によるイベントの実施、ファンド立ち上げ、SNS発信等)。</li> </ul>
【子ども・子育て】子ども及び子育て世代に 対して、まち全体で支援をしている状態	<ul> <li>子どもの放課後の居場所づくりや、安心して集まれる場の確保を進める。</li> <li>働きながら子育てをしやすい環境を充実させる(保育園、学童、ファミサポ等)。</li> <li>子育てをしやすいまちづくりを進める(遊具、図書館の充実等)</li> <li>地域全体で子ども達を見守る(子ども見守り隊、世代間交流の活性化、子育て世代への定住促進、妊娠・出産・育児サポート等)。</li> </ul>
【環境と生活の調和】自然や景観の保全と生 活環境の両立	<ul> <li>自然や街並みとの調和を取りつつ、商業・飲食店の活性化を進める。</li> <li>開成町ならではの地域資源である、豊かな自然や農村の利活用を図る(特産品、オーナー制度、体験型施設等)。</li> <li>水田、古民家等の景観を保全する。</li> <li>農業の担い手を確保する。</li> </ul>
【便利】買い物や移動の手段等が確保されて いる状態	<ul><li>町内外の移動手段を充実させる(新たな交通体系の検討、地域内の互助精神の向上等)。</li><li>町民の生活に必要なものを整える(働く場所、移動手段、買い物等)。</li></ul>

## 【参考】テキストマイニング(町民ワークショップ)

- 町民ワークショップにおいて、「開成町の将来のありたい姿」(開成町の10年後のありたい姿)について、町民に自由に付箋に意見を記載頂いた。下記テキストマイニングは、その付箋の内容をテキストマイニング化したものである。
- 左側が開成町全体のありたい姿に関する付箋、右側が分野別(子育て、防災等)の開成町のありたい姿に関する付箋の内容をあらわしている。
- 緑色が形容詞、青色が名詞、赤色が動詞であり、文字が大きいほど頻出であることを意味する。
- 左側では、<u>「助け合える」「触れ合える」「つなぐ」といった、コミュニケーションに関する用語の頻度が高くなっている。</u>その他、「温暖化対策」「防災」「特産品」「あじさい」といった、環境や防災関連、観光や地域資源関連の用語が目立つ。
- 右側では、<u>「防災」「ハザードマップ」「役場」「水害」「備蓄」「近隣」「避難所」といった、災害関連の用語が頻出している。</u>その他、「区画整理」「自動運 転」などのまちづくりに関する用語や、「のこす」「ふれあう」といった住民同士の関係に関わる用語が目立っている。

# 開成町の将来のありたい姿 (町全体)

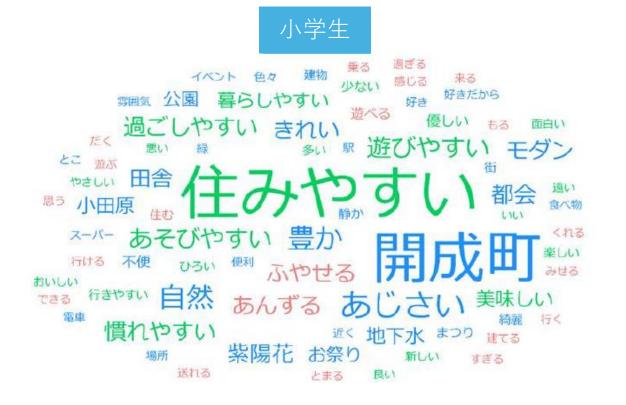
集まる 自然な できる 健康な 子供 楽しい 豊かな 増やす 余分 利便性 楽しめる 聞こえる 自由な あたたかい ステキな 安心 きれいな 教育 やすい 停車 おいしい 住む 平等な 関わる 便利な

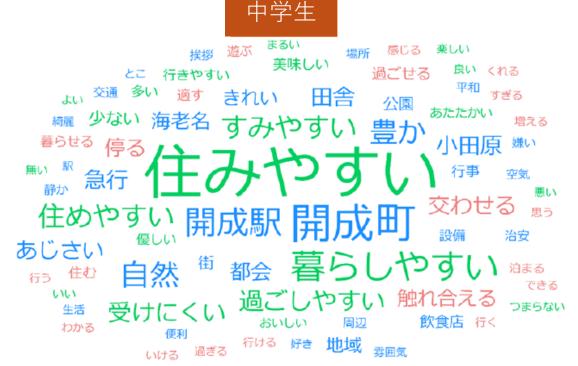
# 開成町の将来のありたい姿 (分野別)

寒くない 危険な 暑くない 歩ける 少ない 噴火 吸わない 無人 産む 近隣 区画整理 健康な 小規模な 独自な 高める 豊かな 高い 明るい つながる やすい きれいな かっこいい 自然な 楽しめる

## 【参考】テキストマイニング(小、中学生アンケート)

- 開成小学校、開成南小学校、文明中学校に通学する児童、生徒に対するアンケートにおいて、「あなたは今の開成町が好きですか」という設問に対する回答の理由 (自由記述)についてテキストマイニングを実施したところ、下記の通りの結果となった。
- 緑色が形容詞、青色が名詞、赤色が動詞であり、文字が大きいほど頻出であることを意味する。
- 「住みやすい」「暮らしやすい」といった、ポジティブなキーワードが目に付く。
- 固有名詞では、「開成町」「開成駅」はもちろんであるが、<u>「あじさい」「紫陽花」「田舎モダン」「地下水」といった、地域資源に係るキーワードの頻度が比較的高い。</u>



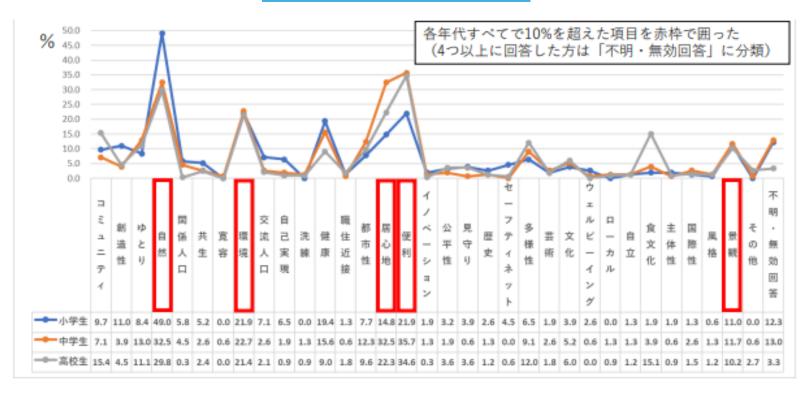


### 【参考】まちづくりにおけるキーワード

- 「これからの開成町のまちづくりにおいて魅力を高めていくためのキーワード」について、18歳以上の町民、及び開成小学校、開成南小学校、文明中学校、吉田島行動学校に通う児童、生徒に対して、アンケート調査で質問した。結果は下記の通りである。
- <u>18歳以上の町民については、「居心地」「自然」「便利」「環境」が20ポイントを超え上位に位置している。</u>年代別に見ると、10〜40代は「コミュニティ」、50〜70代が「環境」、70代以上は「健康」の回答割合が高くなっている。
- <u>小中高校生については、「自然」「環境」「居心地」「便利」「景観」の5項目をすべての年代で回答者の1割以上が選択している</u>結果になった。<u>特に「自然」や「便利」は多くの年代で3割を超えており、開成町のまちづくりにおいて特に重視している様子が見受けられた。</u>

## 町民(18歳以上) ■全体(N=1,186) 居心地 29.3 自然 28.6 環境 健康 17.5 17.2 食文化 セーフティネット 文化 3.2 ウエルビーング 3.1 歴史 1.8 関係人口 1.6 自己実現 1.6 洗練 1.6 寛容 1.3 主体性 1.1 自立 0.9 風格 0.5 その他キーワード 4.6

## 小、中、高校生



開成町のまちづくり(総合計画)に関する 小・中・高生向けアンケート結果報告(日本生産性本部、令和5年12月)

# 【参考】関連団体ヒアリングにおいて寄せられた主な意見

分野	
子育て、教育	<ul> <li>急行停車駅であり、平坦で移動しやすく、南部は街並みが整備されており、北部には風情と自然がある。保育園、学校も充実しており、各種補助金もある。</li> <li>老人会と婦人会の活動が縮小してきた事もあり、子ども達と高齢者の世代間交流が減少しつつある。</li> <li>小学校でスポーツクラブに入っている子供は多いが、中学校進学後に該当する部活動が少ないという課題がある。</li> </ul>
健康・医療・生きがいづくり	<ul> <li>巡回バスだと行き先が限られており、タクシー以外の地域の足が欲しいという声が一部高齢者から寄せられている。</li> <li>高齢者や障がい者が安心して暮らせるように、各施設のバリアフリー化を進めて欲しい。</li> <li>町民体育祭は地域内交流の貴重な場なので、若い人が参加できるようにやり方を見直して継続してはどうか。</li> </ul>
安全・安心	<ul> <li>長年大きな災害は発生していないが、自治会の規模が縮小し、町役場の職員が減りつつある現状を考えると災害時の役割を再考することが必要なのではないか。</li> <li>防災活動に参加するメンバーが固定化しており、形骸化している。集合住宅の住民に会う機会が無い。コミュニティの希薄化が進んでおり、防災に限らず心配である。住民同士のコミュニケーションがもっと必要である。</li> </ul>
自然環境	<ul><li>移住者からは、環境面(自然環境、富士山、川、交通の便、買い物の便等)を高く評価する声が多い。</li><li>高齢化が進んでいる地域では、ゴミの個別回収を検討しても良いのではないかとの声が出ている。</li><li>生活環境の問題も、基本は町民同士のコミュニケーションが重要である。</li></ul>
都市機能と景観	<ul> <li>町民の生活インフラは整備しつつ、田園風景と水とあじさいを守っていくことが、開成町のシビックプライドに繋がるのではないか。</li> <li>開成町の地域特性を活かした方が良い。自然もそうだが、開成町の強みは川ではないか。水辺スポーツ公園など、水を活かしたまちづくりが考えられる。</li> <li>新しい交通網の整備にあたっては、他の町との相互利用を考えた方が良い。</li> <li>県西で小田原に次ぐ、第二の都市を目指すべきではないか。</li> </ul>
産業と文化	<ul> <li>コンパクトさを活用したまちづくり、デジタルを活用したまちづくり、力のある個人事業主を育てることができるまちづくりを目指すべきである。</li> <li>稼ぐ力のあるプレーヤーが必要である。一市五町で連携して DMO(観光地域づくり法人)を作ることも一考である。</li> <li>あじさい祭りを継続させつつ、どう洗練させていくかは大きな課題である。</li> <li>ビジネス的な発想ができる人を集めることが、開成町の発展に繋がる。ビジネスセンスのある優秀な人達を引き付けるために、どうすれば良いのか考えることが重要である。インフラ、ICT、物流環境だけでなく、食文化の充実も考えられる。</li> </ul>
その他	<ul> <li>多くの団体において、活動の担い手確保が大きな課題となっている。定年再雇用により、65~70歳まで働く人が増えた影響もある。また、現役世代は、職場だけでなく家庭での役割を求められる事が増えてきており、地域活動にまで手が回らないという実情がある可能性もある。</li> <li>担い手の負担を減らすため、活動をコンパクトにする団体も目立つ。</li> </ul>